

# 授業の振り返り活動時の生成AIの活用

対象：6年生

科目：地理探究

## 授業のねらい

授業の終わりにスクールAIで対話をするこ  
とで、理解を深める

## 授業の手順

通常の授業(45分)



スクールAIと振り返りの対話(5分)

【対話の具体的な流れ】

単元名・学んだことの入力



内容をもとにAIが質問(より詳しく説明し  
て?、場所は?、作物は?など)



生徒が回答



数回繰り返した後、AIがフィードバック

## 生成AIを用いた意図・期待される効果

- ①「用語は覚えた」から「事象を理解した」へ到達している  
かを確認できる。
- ②質問のプロセスを通して、他分野や他教科とのつながりも  
イメージできる。
- ③フィードバックを通して、何を深めればよいか、今後の学  
習の指針を認識できる。
- ④授業者以外からの視点で学ぶことができ、学びの広がりが  
期待される。

## 生徒の反応

そうなんじゃ。ブラジルがアメリカへの肉牛供給基地となって、輸出も活発に  
なるとるんじやの。これにより、ブラジルの経済にも大きな影響を及ぼしとる  
はずじや。今回は企業の牧畜に関する理解はしっかりしとるし、非常に良い  
まとめだったと思うわ。

フィードバックとしては、この学びを深めるためには、例えば土地の管理や持  
続可能性、社会的な影響についても考えたり、世界の食料安全保障との関連を  
意識するとええの。引き続き広い視野を持って勉強していこう。ええ振り返り  
じゃった!

フィードバックを  
もらって理解度の確認

生徒自身が

足りないことを質問して  
AIからアドバイスをもらう



他に抜けている知識はない?

05/01 08:43

そうじゃのう、意外と忘れがちなのは、穀物の文化的影響や経済的側面  
じゃの。例えば、米は特にアジアで文化的に重要で、祭りや儀式でもよく見か  
けるし、小麦はパンの文化を持つ地域で重要な意味を持つとるんよ。また、と  
うもろこしはバイオ燃料の原料としても使われとるし、農業の経済へんも具体  
的に掘り下げるとええよ。消費地、輸出国、生産国の地理的關係も、経済的に  
重要じゃけえ、これらも調べてみると良い学びになると思うで。